

工事報告書

東京都目黒区下目黒1-3-4
ベルググリーン目黒102号室
建築診断協会
TEL 03-5719-7181 (代)
FAX 03-5719-7188

件名 港南Sマンション新築工事
日時 平成25年11月 5日 (火)
工事 3階立ち上がり+ロフト階床 コンクリート打ち
「コンクリート受入検査」



生コンミキサー車とポンプ車です。

前回、近隣から車の排気臭クレームがあったのでポンプ車を新型で手配し、かつ送風機を用意して対応しています。



コンクリートの品質をチェックする器具類です。



コンクリートの品質をチェックする器具類です。



打設前のコンクリートを一部運び入れて各試験を行います。
この試験を「受け入れ検査」と称します。



まずは、コンクリートの柔らかさを診るため口が開いた円錐型の容器にコンクリートを詰めています。この容器は、スランプコーンと称します。



次に、そのスランプコーンを上に引き上げます。この容器の高さは、30 cmです。



底がない容器なので、中に入っていたコンクリートは、広がっていきます。



コンクリートの山の中央部の落下高を測定します。落下（スランプ）の値が多いほど、柔らかいといえます。
スランプ値は、20 cmでした。

設計スランプは、21 cmですが、呼び強度が36 N/m²の場合、±2 cmを合格とします。

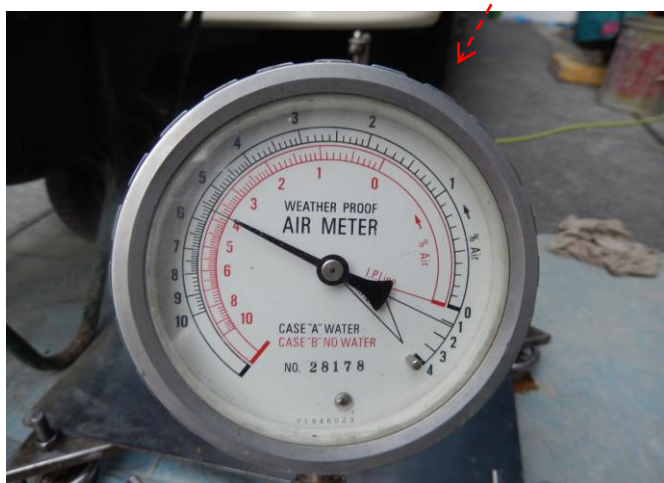
表面には、つやがあり全体に重みがある様子です。スランプ試験は、合格です。



この容器で、空気量を測定します。
生コンクリートを容器に詰めます。



ふたをして密閉します。注水して容器内の空気をなくした後で、圧をかけてから作動弁を開いてその前後の圧力差で、空気量を測定します。



ゲージの針が、3.7%を示しています。
設計空気量は、4.5%です。
許容差は1.5%なので、空気量は合格です。



また、生コンクリートの温度と塩化物含有量を確認しています。



温度は22度、塩化物含有量は0.09 g/m³でした。



強度試験用に、供試体を4本取りました。
これを3セット集めます。
設計では、1回当たり6本以上としています。